

收受年月日	議長	事務局長	書記
8・2・26			
第102号			



令和8年2月26日

埴町議会議長 鈴木 孝則 様

経済常任委員会委員長 鈴木 元久



### 所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第77条の規定により報告する。

### 記

#### 1 調査事件

町道北野松岡線、町道松岡棚倉線、町道埴若宮線の工事進捗状況及び今後の対応について

#### 2 調査の経緯

本委員会は、町道北野松岡線、町道松岡棚倉線、町道埴若宮線の工事進捗状況及び今後の対応について、担当課からの聞き取り調査を行った。

調査日：令和8年1月28日（水）

出席委員：鈴木元久、金澤太郎、吉田広明、七宮広樹、小林達信、下重義人

説明員：まち整備課長、課長補佐兼まち整備係長

職務出席者：議会事務局長、書記

場所：委員会室及び現地

#### 3 調査の結果

##### ・町道北野松岡線道路改良事業

この事業は、平成30年度から事業が始まったが、人件費や資材の高騰による影響があると聞いた。概算総事業費約8億9千万円で、財源の大半が国庫支出金と地方債であると説明を受けた。平面交差による踏切工事を残すばかりとなったが、大型トラック運行に対応した路面の舗装強化策を願う。今後町の発展には最も必要な道路であるとともに、上渋井側の十字路交差点には十分な安全対策が必要であると思えた。また、令和8年度の開通を目指す、令和9年度になる可能性もあると説明を受けた。

##### ・町道松岡棚倉線道路改良事業

東白衛生組合への連絡道路の道幅が狭く、車の交差が困難であるために計画された事業で、概算総事業費は約1億9千万円。令和9年度完成を目指し、令和5年度から測量設計、用地測量が行われ、令和6年度に36mのボックスカルバートを設置し、令和7年度に側溝布設や盛土工、令和8年度以降に舗装工事等が実施されることを確認した。一方通行とするかどうかは東白衛生組合並びに4町村で協議していくとのことだが、農道の要素も含まれるので相互通行を望む声もあり、大きな検討課題である。

・町道埜若宮線改良事業

通学路緊急対策事業として、国の補助率61.6%で工事が進んでいる。令和3年度から令和7年度にかけて実施された測量設計・用地測量・改良工事の進捗状況を確認した。その中で、1～2工区は幅員が取れており通学路としての安全対策がとられていると思ったが、3工区は用地などの課題があり、幅員確保ができるのか問題である。

・まとめ

道路の新設改良工事は極めて重要であり、優先順位をつけながら国や県の補助金など財源の確保が必要と考えた。

#### 4 委員報告書

別紙のとおり

收受年月日	委員長	事務局長	書記
8・1・28	 議員派遣 委員派遣		
第 号			

様式 1

調査研修等報告書

令和 8 年 1 月 28 日

議会議長  
委員会委員長 様



提出者 小林達信

派遣目的 (調査等 名称)	田道北野松岡線、田道松岡桐原線並に 田道埼玉宮線の工事進捗状況及び今後の対応		
派遣の 日時	令和8年1月28日	派遣先 (場所)	現地
内容			
派遣 結果 (意見 及び 感想)	大変良く分かった。		

※内容の欄は代表者又は委員長がまとめれば各議員は不要

收受年月日	委員	事務局長	書記
8・2・3	議員	派遣	調査
第 号	委員	派遣	研修等報告書



令和 8 年 2 月 3 日

鈴木孝則 議会議長  
鈴木元久 経済常任委員長  
様

提出者 吉田 広明

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和 8 年 1 月 2 8 日	派遣先 (場所)	委員会室・現場確認
内容	1、町道北野松岡線、町道松岡棚倉線並びに町道若宮線の工事進捗状況及び、今後の対応について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>1、町道北野松岡線について 社会資本整備交付金の事業である。歩道・ガードレール・水道管埋設など人件費や資材の高騰による影響もある。国の予算措置にもよるが令和 8 年度の開通を目指すのが令和 9 年度なる可能性もある。尚、上渋井側の十字路交差点には十分な安全対策が必要である。</p> <p>2、町道松岡棚倉線について 36m の大型暗渠も完成しており、30m の水道管埋設予定である。一方通行にするか 4 町村で協議するが、農道の要素も含まれるので、相互通行を望む声もあり大きな検討課題である。</p> <p>3、町道若宮線について 通学路緊急対策事業・補助率 61% として工事が進んでいる。工事前より 1～2 工区は幅員が取れており、通学路としての安全対策になったと思えた。3 工区は用地などの課題があり幅員が確保できるのか問題である。</p>		

收受年月日	委員長	事務局長	書記
8.2.10	議員派遣	委員派遣	調査
第 号			

様式 1

研修等報告書

令和 8年 2月 10日



議会議長  
委員会委員長 様

提出者 金澤 太郎

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和8年1月28日 10時00分より	派遣先 (場所)	委員会室および現地
内容	町道北野松岡線、町道松岡棚倉線並びに町道若宮線の工事進捗状況及び		
	今後の対応について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	各路線の工事進捗状況を確認した。現状では当初予算を超える見込み		
	は確認できないとの事であったが、資材高、人件費高騰等の不確定要素		
	はまだまだあると思慮されるため、引き続き的確な予算執行に努めること		
	を願いたい。		
	=現地視察=		
	○町道若宮線		
	狭隘解消で実施されている工事であるが、工事部分が予想以上に広く感		
	じられ、歩行者の安全確保の面で非常に良い工事である。ただ、現在の工		
	事箇所より先については土地の問題や周辺環境と合わせ、適正な価格設定		
	が必要であると思われる。場合によっては、時間帯通行制限などとの比較		
検討も必要ではないのかと感じる。歩行者の安全確保は絶対命題と思う			
が、予算規模にもよるので、今後慎重な判断をお願いします。			

○町道北野松岡線、町道松岡棚倉線

工事が予定通り進められている事を確認した。JRの踏切工事次第の部分があるが、当初予定を大きく変更することなく進捗しそうである。

松岡棚倉線については、丁張りがなされており、新しい環境衛生センターへの通行が現在と比して使い易くなることが良くわかった。

視察当日は強風が吹いていたが、北野松岡線は南北の風の影響を強く受ける道ということ改めて感じた。

以上

収受年月日	委員長	事務局長	書記
8.2.12			
第 号			

様式 1

経済常任委員会所管事務調査報告書

議会議長  
委員長 様



令和 8 年 2 月 12 日

提出者 下 重 義 人

派遣目的 (調査等名称)	経済常任委員会		
派遣の日時	令和 8 年 1 月 28 日 (水) 午前 10 時～	派遣先 (場所)	役場委員会室及び現地
内 容	町道北野松岡線、町道松岡棚倉線並びに町道塙若宮線の 工事進捗状況及び今後の対応について		
派遣結果 (意見及び感想)	<p>(1) 町道北野松岡線道路改良事業</p> <p>この事業は平成 30 年から事業が始まり今年令和 8 年度、舗装工事と平面交差による踏切工事を残すばかりとなった概算で総事業費は約 889,196 千円で今年度の事業費 120,000 千円は国県支出金と地方債で賄われるとの説明であった。今後の町の発展には最も必要な道路であると思われるため一日も早い開通を望む。</p> <p>(2) 町道松岡棚倉線道路改良事業</p> <p>この路線にある東白衛生組合への連絡道路が余りにも道幅が狭く、車の交差が困難を極めるため計画された事業と思われる。概算総事業費は約 193,035 千円で令和 9 年には完成予定との説明であった。</p> <p>東白衛生組合の利用客及びに職員の環境を思えば、早急に行う事業ではと感じられた。</p> <p>(3) 町道塙若宮線改良事業</p> <p>この事業は最も交通の安全性を重視した事業であるとの説明でした。ただ残念なのは大型車両が通り抜け出来ないことが今後の課題になるかと思われる。</p>		

收受年月日	委員長	事務局長	書記	議員派遣・委員派遣
8・2・16				
第 号	所管事務調査報告書			

令和8年2月16日

経済常任委員会  
鈴木元久 委員長 様



提出者 七宮広樹 

派遣目的 (調査等名称)	経済常任委員会		
派遣の日時	令和8年1月28日(水)	派遣先 (場所)	委員会室 / 現地
内容	町道の新設改良工事の進捗状況と今後の対応		
派遣結果 (意見及び感想)	<p>この度の所管事務調査にあたり、町道3線の現状把握ができ有意義な所管事務調査でありました。</p> <p>まち整備課より、町道北野松岡線・町道松岡棚倉線・町道埜若宮線の事業名・事業概要・予算執行状況と、今年度(令和7年度)工事概要の詳細な説明を受けた。</p> <p>●町道北野松岡線道路改良事業では、道路改良工事工区別(年度別)計画表で示され、令和7年度工事の寄居下交差点部や、令和8年度工事の全舗装、令和8年秋ごろから進められる予定の新設踏切工事について説明を受けた。また、寄居下交差点の交通事故対策と、重量積載トラック通行による路面の舗装強化策を願うと共に、将来を見据え町道から県道への格上げの働き掛けも必要だと思う。</p> <p>●町道松岡棚倉線道路改良事業(防災・安全交付金)では、令和5年からの測量設計・用地測量が行われ、令和6年の函渠工・令和7年の改良工事、令和8年以降からの改良工事として舗装工と側溝布設が行われ事を確認した。この事業により安心・安全の確保、利便性の向上が図れると確信した。</p> <p>●町道埜若宮線道路改良事業(通学路緊急対策事業)では、令和3年からの測量設計・令和4年の用地測量と測量設計・令和6年の測量設計と用地測量・令和7年の改良工事の進捗状況を確認した。安心・安全の確保と、利便性の向上が図れる事業だと感じている。令和8年から進められる改良工事の一部については、費用対効果も考え計画変更も必要だと感じた。</p> <p>この度の所管事務調査で特に感じた事として、道路の新設・改良工事は極めて重要であり町全体を見定め、優先順位を付けながら、国や県の補助事業確保に努め、更には県・国との情報交換にも努めていただきたいと切に願う。</p>		